

添付書類

「(1) 実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

☒ 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

専攻科保育専攻

科目区分	授業科目	担当教員	単位
専門科目	幼稚園実習	大澤亜里	3
	保育所実習	大澤亜里	2
	施設実習	遠山景広	2
専攻科保育専攻 合計			7

保育科

科目区分	授業科目	担当教員	単位
専門科目	保育実習ⅠA	大澤亜里、加藤雅子、遠山景広	2
	教育実習Ⅰ	森川由衣	2
	教育実習Ⅱ	松井亜樹、田中住幸、森川由衣	3
保育科 合計			7

講 義 要 項

— syllabus —



札幌大谷大学

札幌大谷大学短期大学部

目 次

X006100	幼稚園実習	大澤 亜里	前期集中	・ ・ ・	1
X006200	保育所実習	大澤 亜里	後期集中	・ ・ ・	3
X006300	施設実習	遠山 景広	後期集中	・ ・ ・	5
5021400	保育実習	A 大澤 亜里	後期集中	・ ・ ・	7
5021801	教育実習	ab 森川 由衣	前期	・ ・ ・	9
5021900	教育実習	田中 住幸	前期集中	・ ・ ・	11

授業科目	幼稚園実習							
担当教員	大澤 亜里	配当年次	1 年生	開講期	前期集中	単位数	3	
		履修人数		必須選択	選択			
		授業形態					授業回数	
		ナンバリング	MC-MS 1604				ワデマンド科目	
授業概要								
主に札幌市立幼稚園において実習を行い、本科での学びや経験を通して築いた保育観をさらに深めます。実習は8月後半から9月前半までの3週間行い、その内容は実習園に委ねます。事前指導では、札幌市立幼稚園の特色（自由保育的保育形態や障害児の積極的な受け入れなど）について学び、そこでの教師の保育観や子ども観、教育課程や指導計画、環境構成等について実習を通して学び取ることができるよう準備をします。実習後は自身の課題の整理や考察を行います。 この科目は、実習を中心に位置づけている実践的教育を行っています。								
到達目標								
子どもの自発性を引き出す教師の関わり方について自分の意見を述べることができる。 チーム保育の在り方について自分の意見を述べるができる。 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本がどのように実践されているか理解し、説明することができる。 自身の課題を発見し、その解決に向けての道筋を立てることができる。								
学科のディプロマ・ポリシー								
	1. 人間性：建学の精神に基づいた豊かな人間性と、学びの成果を活用して社会に貢献しようとする使命感を持ち、社会人としての教養を身につけている。							
	2. 知識理解：幼児教育・保育にかかわる理論を自分なりに理解するとともに、子どもの成長・発達についての幅広い専門的知識を修得している。							
○	3. 協調性：社会の問題を多角的に捉え、客観的に把握するとともに、他の専門職と協働して解決に向けて行動するリーダーシップを身につけている。							
	4. 知識活用：各々の得意分野をさらに磨き、幼児教育・保育の実践に必要な高い技術を持っている。							
	5. 論理的思考力：一定のテーマについて根拠に基づいて論理的に考察し、的確に表現することができる。							
成績評価方法・基準								
	内容	割合(%)	内容	割合(%)				
	実習園の評価	50%						
	実習日誌	25%						
	実習報告書・報告会への参加	25%						
教科書・ソフト等								
	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN	備考		
	『なし。授業内で適宜、資料を配布します。』							
参考書等								
なし。授業内で指示します。								
授業科目に関連した実務経験のある教員の配置の有無						実務経験なし		
予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間								
予習・復習の具体的な内容						予習・復習に必要な時間		
本科での実習の振り返りや事前指導から自己の課題を明確にして実習に臨んでください。また実習後はその課題に対する反省を行ってください。						2時間から3時間程度/週		
受講時の注意事項								
授業計画の実施に当たっては、幼児教育課程特論との連携で実施します（事前事後指導について）。								
アクティブ・ラーニング情報								
この科目は、アクティブ・ラーニングにおける実習の要素を含む授業です。								
備考								

授業計画		
回数	タイトル	内容
第1週	事前指導	札幌市立幼稚園の特色と実習の心得について学ぶ。
第2週	実習園との事前打ち合わせ	実習園と調整のうえ事前に訪問し、実習内容や準備物等について知る。
第3週	見学・観察・参加実習	実習園の指導のもと以下の実習を行う。 実習園の人的環境、物的環境、地域環境などを把握する。 観察、参加、記録、反省を通して、子ども理解や教師の関わり方について実習する。
第4週	部分実習・全日実習	担当教諭の指導のもとに指導計画を作成し指導実習を行う 保育後は指導計画に沿った評価・反省をし、記録をとる その他各実習園の指導に従い必要な活動を行う
第5週	保育科教員による研究保育日の巡回指導	研究保育日の日に教員の巡回指導を受ける。
第6週	事後指導	実習報告書を作成し、自身の課題を整理する。 実習報告会に参加する。
第7週		
第8週		
第9週		
第10週		
第11週		
第12週		
第13週		
第14週		
第15週		
第16週		
第17週		
第18週		
第19週		
第20週		
第21週		
第22週		
第23週		
第24週		
第25週		
第26週		
第27週		
第28週		
第29週		
第30週		

授業科目	保育所実習							
担当教員	大澤 亜里	配当年次	1 年生	開講期	後期集中	単位数	2	
		履修人数		必須選択	選択			
		授業形態					授業回数	
		ナンバリング	MC-MS 1601				ワデマンド科目	
授業概要								
保育所に実習を行い、これまで学んだ保育の理論が実際の子どもとの関わりや保育者との関わりを通して、より理解を深めます。実習園との調整により2月に10日間行い、その内容は実習園にゆだねます。事前指導では保育所・認定こども園の目的や役割について、また保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領について理解を深めます。またこれまでの実習を踏まえて自身の実習課題を決め、実習に向けて準備をします。実習後は自身の課題の整理や考察を行います。 この科目は、実習を中心に位置づけている実践的教育を行っています。								
到達目標								
保育所や認定こども園の役割について説明できる。 実習計画、課題を明確にし、説明できる。 保育者の役割を理解し、自分なりに実践することができる。								
学科のディプロマ・ポリシー								
☐	1. 人間性：建学の精神に基づいた豊かな人間性と、学びの成果を活用して社会に貢献しようとする使命感を持ち、社会人としての教養を身につけている。							
☐	2. 知識理解：幼児教育・保育にかかわる理論を自分なりに理解するとともに、子どもの成長・発達についての幅広い専門的知識を修得している。							
☐	3. 協調性：社会の問題を多角的に捉え、客観的に把握するとともに、他の専門職と協働して解決に向けて行動するリーダーシップを身につけている。							
☐	4. 知識活用：各々の得意分野をさらに磨き、幼児教育・保育の実践に必要な高い技術を持っている。							
☐	5. 論理的思考力：一定のテーマについて根拠に基づいて論理的に考察し、的確に表現することができる。							
成績評価方法・基準								
内容		割合(%)	内容		割合(%)			
実習園の評価		50%						
実習日誌		25%						
実習報告書の作成		25%						
教科書・ソフト等								
書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN	備考			
『なし。授業内で適宜、資料を配布します。』								
参考書等								
なし。授業内で指示します。								
授業科目に関連した実務経験のある教員の配置の有無						実務経験なし		
予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間								
予習・復習の具体的な内容						予習・復習に必要な時間		
本科での実習の振り返りや事前指導から自己の課題を明確にして実習に臨んでください。また実習後はその課題に対する反省を行ってください。						2時間から3時間程度/週		
受講時の注意事項								
各自で実習課題を立て、実習園の保育方針に合わせて検討を行っていきます。選択する学生は実習に対する目的意識を持って準備してください。								
アクティブ・ラーニング情報								
この科目は、アクティブ・ラーニングにおける実習の要素を含む授業です。								
備考								

授業計画		
回数	タイトル	内容
第1週	事前指導	保育所・認定こども園の目的と役割について学ぶ。 保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領について学ぶ。 これまでの実習の評価、反省をし、自らの実習課題を決める。
第2週	実習園との事前打ち合わせ	実習園と日程を調整し事前に訪問し、実習内容や準備物等について知る。
第3週	観察・参加実習	実習園の指導のもと、以下の実習を行う。 実習園の人的環境、物的環境、地域環境などを把握する。 観察、参加、記録、反省を通して、子ども理解や教師の関わり方について実習する。
第4週	指導実習	担当教諭の指導のもとに指導計画を作成し指導実習を行う。 保育後は指導計画に沿った評価・反省をし、記録をとる。 その他各実習園の指導に従い必要な活動を行う。
第5週	保育科教員による巡回指導	実習期間中に保育科教員による巡回指導を受ける。
第6週	事後指導	実習報告書を作成し、課題の整理を行う。 実習報告会に参加する。
第7週		
第8週		
第9週		
第10週		
第11週		
第12週		
第13週		
第14週		
第15週		
第16週		
第17週		
第18週		
第19週		
第20週		
第21週		
第22週		
第23週		
第24週		
第25週		
第26週		
第27週		
第28週		
第29週		
第30週		

授業科目	施設実習							
担当教員	遠山 景広	配当年次	1 年生	開講期	後期集中	単位数	2	
		履修人数		必須選択	選択			
		授業形態					授業回数	
		ナンバリング	MC-MS 1602				ワデマンド科目	
授業概要								
本科での保育実習や関連科目で学習した知識と経験を活かし、さらなる実践力を磨くことを目的とする。 受講生は各自、実習における課題を事前指導の中で設定し、課題に基づいて実習に取り組み、実習課題に基づいた実践と結果の関連性を考察し、自分の実践の意味をより深く考えることで、実践力を向上させることを目指す。 この科目では、実習を中心に位置づけている実践的教育を行う。								
到達目標								
課題を踏まえた実習を通して、自己の実践の意味に関してより深く理解する 利用者個々のニーズに応じた援助方法について実践を通してより深く理解する 課題を踏まえた実習を通して、保育者としての自己の課題をより明確化する								
学科のディプロマ・ポリシー								
	1. 人間性：建学の精神に基づいた豊かな人間性と、学びの成果を活用して社会に貢献しようとする使命感を持ち、社会人としての教養を身につけている。							
	2. 知識理解：幼児教育・保育にかかわる理論を自分なりに理解するとともに、子どもの成長・発達についての幅広い専門的知識を修得している。							
○	3. 協調性：社会の問題を多角的に捉え、客観的に把握するとともに、他の専門職と協働して解決に向けて行動するリーダーシップを身につけている。							
	4. 知識活用：各々の得意分野をさらに磨き、幼児教育・保育の実践に必要な高い技術を持っている。							
	5. 論理的思考力：一定のテーマについて根拠に基づいて論理的に考察し、的確に表現することができる。							
成績評価方法・基準								
内容		割合 (%)	内容		割合 (%)			
実習園の評価		50%						
実習日誌		25%						
実習報告書		25%						
教科書・ソフト等								
書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN	備考			
『なし。授業内で適宜、資料を配付します』								
参考書等								
なし。授業内で指示します								
授業科目に関連した実務経験のある教員の配置の有無						実務経験なし		
予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間								
予習・復習の具体的な内容						予習・復習に必要な時間		
本科での実習の振り返りを通して、さらに学びたい課題を明確にして、事前指導及び実習に臨むようにしてください						2時間から3時間程度/週		
受講時の注意事項								
各自で実習課題を立案し、実習施設の形態に合わせて検討を行っていきます。選択する学生は実習に対する目的意識を持つようにしてください								
アクティブ・ラーニング情報								
この科目は、アクティブ・ラーニングにおける実習の要素を含む授業です。								
備考								

授業計画		
回数	タイトル	内容
第1週	1. 事前指導 本科実習の振り返りと施設の概要	これまでの実習を振り返り自己評価を行いつつ、実習を行う施設の概要について学ぶ
第2週	1. 事前指導 実習課題の設定	自己評価の中で特に今回の実習で重視したい課題について整理し、その課題にかかわる学びを深める
第3週	1. 事前指導 実習計画書の作成と検討	実習計画書の作成方法を確認し、計画書の作成準備を行う
第4週	1. 事前指導 実習計画書の作成と検討	自己評価と課題、実習計画作成の注意点を踏まえ、実習計画書を作成する
第5週	2. 事前打ち合わせ	事前打ち合わせの際に確認が必要となる内容、注意事項を確認する
第6週	2. 事前打ち合わせ	確認した内容を踏まえて打ち合わせを行い、実習の具体的なイメージを作り実習に臨む準備を進める
第7週	3. 実習内容 1) 見学・観察・参加実習	実習施設の人的環境、物的環境、地域環境を知る
第8週	3. 実習内容 1) 見学・観察・参加実習	利用者の一日の生活の流れを知り、利用者の活動と職員の援助を観察する
第9週	3. 実習内容 1) 見学・観察・参加実習	実習担当職員の指導を受けながら、利用者と活動を共にし、利用者へ援助補助をする
第10週	3. 実習内容 2) 援助実習	担当職員の指導を受けながら、実習施設の援助計画に合わせて実習する
第11週	3. 実習内容 2) 援助実習	各自課題を設定し、援助計画を立てて実習する
第12週	3. 実習内容 2) 援助実習	その他、利用者との活動や生活上必要となる援助について学び、職員とともに必要な活動を行う
第13週	4. 事後指導	実習前に設定した課題について確認し、達成状況や反省点を整理する
第14週	4. 事後指導	実習を通して得られた課題を整理し、今後保育者としてどのように活かすか、改善したいかを考える
第15週	4. 事後指導	実習報告会に参加し、課題や解決方法について意見交換を通して課題を多角的に理解し、解決方法の検討を行う
第16週		
第17週		
第18週		
第19週		
第20週		
第21週		
第22週		
第23週		
第24週		
第25週		
第26週		
第27週		
第28週		
第29週		
第30週		

授業科目	保育実習 A							
担当教員	大澤 亜里 / 加藤 雅子 / 遠山 景広	配当年次	1 年生	開講期	後期集中	単位数	2	
		履修人数		必須選択	選択			
		授業形態					授業回数	
		ナンバリング	EC-MS 1602				ワデマンド科目	
授業概要								
認可保育所で、10日間の実習を行う。 既習の保育関連科目での学びを生かして、保育現場での観察・参加実習を行う。 毎日の実習に当たっては担当保育士から指導を受け、事前準備する。 実習内容は実習日誌に整理し、担当保育士の指導を受け、自己評価を行う。 この科目は、実習を中心に位置づけている実践的教育を行っています。								
到達目標								
実習生としてふさわしい態度を身につける。 子どもの保育及び保護者への支援を中心に保育所の役割や機能を具体的かつ総合的に理解し説明できる。 子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深めると同時に、保育士の業務内容や職業倫理について理解し説明できる。 毎日の実習内容について記録及び自己評価を行い、その意義について理解し説明できる。 今後の学習に向けて具体的課題を持ち、報告書に整理することができる。								
学科のディプロマ・ポリシー								
	1.人間性：建学の精神に基づいた豊かな人間性と、真理を探究する姿勢を持ち、社会人としての基礎的教養を身につけている。							
	2.知識理解：幼児教育・保育に関わる理論と技術、子どもの成長・発達についての専門的知識を修得している。							
○	3.協調性：社会の様々な問題に関心を向け、幼児教育・保育の現場で他者と協力して対応する行動力を身につけている。							
	4.知識活用：各々の関心に基づく得意分野を持ち、幼児教育・保育の実践に活かすことができる。							
成績評価方法・基準								
内容		割合(%)	内容		割合(%)			
実習園の評価		50%						
実習日誌		25%						
実習報告書・報告会への参加		25%						
教科書・ソフト等								
書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN	備考			
『なし。授業内で適宜、資料を配布します。』								
参考書等								
なし。授業内で指示します。								
授業科目に関連した実務経験のある教員の配置の有無						実務経験なし		
予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間								
予習・復習の具体的な内容						予習・復習に必要な時間		
「保育実習指導」の内容をふまえてしっかりと事前の準備を行いましょう。終了後は日誌等の記録を見なおしながら報告書を作成し、次の実習に向けての課題を整理しましょう。						2時間から3時間程度/週		
受講時の注意事項								
授業の中心は学外での実習となります。大学では、実習の事前準備と実習を終えての事後指導を行います。								
アクティブ・ラーニング情報								
この科目は、アクティブ・ラーニングにおける実習の要素を含む授業です。								
備考								

授業計画		
回数	タイトル	内容
第1週	事前オリエンテーション	実習園と相談をしたうえで、指定の日時に実習園を訪問する。
第2週	実習報告会への参加	実習報告会に参加し、先輩たちから実習前の準備や実習中の体験などについて話を聞く。
第3週	見学・観察・参加実習	実習園の指導のもと、以下の実習を行う。 実習園の人的環境、物的環境、地域環境を知る。 実習園の一日の生活の流れ、週間予定、月間予定を知る。
第4週	実習記録	1日の実習内容を日誌に記録する。
第5週	専任教員による巡回指導	実習期間中に専任教員による指導を受け、実習前半の反省を行い、後半の課題を明確にする。
第6週	事後指導	実習報告書を作成し、自身の課題について整理する。
第7週		
第8週		
第9週		
第10週		
第11週		
第12週		
第13週		
第14週		
第15週		
第16週		
第17週		
第18週		
第19週		
第20週		
第21週		
第22週		
第23週		
第24週		
第25週		
第26週		
第27週		
第28週		
第29週		
第30週		

授業科目	教育実習 ab							
担当教員	森川 由衣	配当年次	1 年生	開講期	前期	単位数	2	
		履修人数		必須選択	選択			
		授業形態					授業回数	
		ナンバリング	EC-MS 1604				ワデマド科目	

授業概要																																				
附属幼稚園において毎週、通年観察実習する。 観察視点に沿って観察・記録しその後、観察内容についての疑問点などをカンファランスする。 記録は次週に考察を加え提出する。 「子どもとは...」「保育者とは...」「幼稚園とは...」「子どもとの関わり方」などの理解を深め、子ども観、保育観などを考え、築いていく基礎を学ぶ。 観察の他に指導演習（学外実習事前指導・折り紙指導・わらべ歌など）を行う。 附属幼稚園において2日間の参加実習を行う。 この科目は、実習を中心に位置づけている実践的教育を行っています。																																				
到達目標																																				
観察視点に沿って観察することで、子ども観、保育観などを考えていく基礎を身につける。 観察記録から視点に沿った考察をすることによりレポートをまとめる力を育てる。 観察からの学びを実習につなげることが出来るようになる。 附属幼稚園の参加実習体験から自己の課題を知り、学外実習への意欲が高まるようになる。																																				
学科のディプロマ・ポリシー																																				
<table border="1"> <tr> <td>☐</td> <td>1.人間性：建学の精神に基づいた豊かな人間性と、真理を探究する姿勢を持ち、社会人としての基礎的教養を身につけている。</td> </tr> <tr> <td>☐</td> <td>2.知識理解：幼児教育・保育に関わる理論と技術、子どもの成長・発達についての専門的知識を修得している。</td> </tr> <tr> <td>☒</td> <td>3.協調性：社会の様々な問題に関心を向け、幼児教育・保育の現場で他者と協力して対応する行動力を身につけている。</td> </tr> <tr> <td>☐</td> <td>4.知識活用：各々の関心に基づく得意分野を持ち、幼児教育・保育の実践に活かすことができる。</td> </tr> </table>	☐	1.人間性：建学の精神に基づいた豊かな人間性と、真理を探究する姿勢を持ち、社会人としての基礎的教養を身につけている。	☐	2.知識理解：幼児教育・保育に関わる理論と技術、子どもの成長・発達についての専門的知識を修得している。	☒	3.協調性：社会の様々な問題に関心を向け、幼児教育・保育の現場で他者と協力して対応する行動力を身につけている。	☐	4.知識活用：各々の関心に基づく得意分野を持ち、幼児教育・保育の実践に活かすことができる。																												
☐	1.人間性：建学の精神に基づいた豊かな人間性と、真理を探究する姿勢を持ち、社会人としての基礎的教養を身につけている。																																			
☐	2.知識理解：幼児教育・保育に関わる理論と技術、子どもの成長・発達についての専門的知識を修得している。																																			
☒	3.協調性：社会の様々な問題に関心を向け、幼児教育・保育の現場で他者と協力して対応する行動力を身につけている。																																			
☐	4.知識活用：各々の関心に基づく得意分野を持ち、幼児教育・保育の実践に活かすことができる。																																			
成績評価方法・基準																																				
<table border="1"> <tr> <th>内容</th> <th>割合(%)</th> <th>内容</th> <th>割合(%)</th> </tr> <tr> <td>レポートの内容と提出状況</td> <td>80%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>観察態度と授業参加態度</td> <td>20%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	内容	割合(%)	内容	割合(%)	レポートの内容と提出状況	80%			観察態度と授業参加態度	20%																										
内容	割合(%)	内容	割合(%)																																	
レポートの内容と提出状況	80%																																			
観察態度と授業参加態度	20%																																			
教科書・ソフト等																																				
<table border="1"> <tr> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>『なし。必要に応じて資料を配付します。』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN	備考	『なし。必要に応じて資料を配付します。』																													
書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN	備考																															
『なし。必要に応じて資料を配付します。』																																				
参考書等																																				
宮内克男 編著『レポート・論文のまとめ方と書き方』川島書店																																				
授業科目に関連した実務経験のある教員の配置の有無	実務経験あり																																			
この科目は、幼稚園教諭の経験を有する教員が実践的教育を行っています。																																				
予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間																																				
<table border="1"> <tr> <th>予習・復習の具体的な内容</th> <th>予習・復習に必要な時間</th> </tr> <tr> <td>事前に提示された観察テーマを理解し、観察の視点を考えておくこと。 実習前に事前確認する時間を確保してください。</td> <td>1時間から2時間程度/週</td> </tr> </table>	予習・復習の具体的な内容	予習・復習に必要な時間	事前に提示された観察テーマを理解し、観察の視点を考えておくこと。 実習前に事前確認する時間を確保してください。	1時間から2時間程度/週																																
予習・復習の具体的な内容	予習・復習に必要な時間																																			
事前に提示された観察テーマを理解し、観察の視点を考えておくこと。 実習前に事前確認する時間を確保してください。	1時間から2時間程度/週																																			
受講時の注意事項																																				
・観察、指導演習等の日程は附属幼稚園のカリキュラムにより変更することがあります。 ・授業内容から通常の講義時間帯とは異なることがあります。 ・レポートの提出は原則として次回までとします。																																				
アクティブ・ラーニング情報																																				
この科目は、アクティブ・ラーニングにおける実習の要素を含む授業です。																																				
備考																																				
この科目は主要授業科目です。																																				

授業計画		
回数	タイトル	内容
第1週	ガイダンス	授業内容、目的、計画 附属幼稚園見学
第2週	観察実習	・子どもを中心とした観察 「一人の子の行動を他との関わりを中心に観察しその内容を考察する」他
第3週	観察実習	・子どもを中心とした観察 「一人の子の行動を他との関わりを中心に観察しその内容を考察する」他
第4週	観察実習	・子どもを中心とした観察 「一人の子の行動を他との関わりを中心に観察しその内容を考察する」他
第5週	観察実習	・子どもを中心とした観察 「一人の子の行動を他との関わりを中心に観察しその内容を考察する」他
第6週	観察実習	・子どもを中心とした観察 「一人の子の行動を他との関わりを中心に観察しその内容を考察する」他
第7週	観察実習	・保育者を中心とした観察 「先生の行動を観察し、子どもに配慮している点を考察する」他
第8週	観察実習	・保育者を中心とした観察 「先生の行動を観察し、子どもに配慮している点を考察する」他
第9週	観察実習	・子どもを中心とした観察 「一人の子の行動を他との関わりを中心に観察しその内容を考察する」他
第10週	観察実習	・環境構成、行事などを中心とした観察 「運動会の練習の様子を観察し、その取組みを考察する」他
第11週	特別講義	わらべうた演習
第12週	観察実習	・子どもを中心とした観察 「一人の子の行動を他との関わりを中心に観察しその内容を考察する」他
第13週	保育制作指導 他	保育制作発表 制作した名札・教材を使用して自己紹介
第14週	保育制作指導 他	保育制作発表 制作した名札・教材を使用して自己紹介
第15週	保育制作指導 他	保育制作発表 制作した名札・教材を使用して自己紹介
第16週	参加実習	・附属幼稚園において2日間参加実習・省察会
第17週	観察実習	・子どもの遊びを中心とした観察 「遊びの流れや集中できる時間について考察する」他
第18週	保育制作指導 他	保育制作発表 絵本の読み聞かせ練習
第19週	保育制作指導 他	保育制作発表 絵本の読み聞かせ練習
第20週	観察実習	・実習生を中心とした観察 「参加実習生の行動を観察し、その役割を考察する」他
第21週	観察実習	・実習生を中心とした観察 「参加実習生の行動を観察し、その役割を考察する」他
第22週	観察実習	・子どもの遊びを中心とした観察 「遊びの流れや集中できる時間について考察する」他
第23週	観察実習	・子どもの遊びを中心とした観察 「遊びの流れや集中できる時間について考察する」他
第24週	観察実習	・子どもの遊びを中心とした観察 「遊びの流れや集中できる時間について考察する」他
第25週	観察実習	・子ども、グループ、他者とのかわり、保育者の配慮・動きなど自由にテーマを決めて観察
第26週	保育制作指導 他	保育制作発表 制作した教材を使用した発表
第27週	保育制作指導 他	保育制作発表 制作した教材を使用した発表
第28週	まとめ	1年間の振り返りと実習事前指導
第29週	「教育実習」の事前事後指導	1年次の10月に行われる実習報告会に参加する 2年次の前期に実習の心得と日誌及び指導計画の書き方等について学ぶ 2年次の10月に行われる実習報告会に参加する
第30週	特別講義「伝承遊び」	2年次の後期に実施する特別講義で、伝承遊びについて学ぶ

授業科目	教育実習							
担当教員	田中 住幸 / 松井 亜樹 / 森川 由衣	配当年次	2 年生	開講期	前期集中	単位数	3	
		履修人数		必須選択	選択			
		授業形態					授業回数	
		ナンバリング	EC-MS 2606				ワデマンド科目	
授業概要								
本学との協力幼稚園（私立）において8月～9月に3週間教育実習する。 既習の保育理論・関連科目を生かして、幼稚園現場で実践学習する。 毎日の実習に当たっては指導教諭との相談を密にして、事前準備する。 実習内容は実習日誌に整理し、担当教諭の指導を受け、自己評価していく。 この科目は、実習を中心に位置づけている実践的教育を行っています。								
到達目標								
社会人にふさわしい態度を身につける。 目標を持って毎日の実習に臨める。 実習内容を実習日誌に反映して記述できる。 楽しく、元気に実習できる。幼稚園を知る。子どもから幼稚園教諭の在り方を学ぶ態度を身につける。 幼稚園の役割・意義・幼稚園教諭の仕事を実感として受け止め、これからの学習に向け、課題意識と具体的課題を持ち、幼稚園教諭としての仕事を理解する。								
学科のディプロマ・ポリシー								
	1.人間性：建学の精神に基づいた豊かな人間性と、真理を探究する姿勢を持ち、社会人としての基礎的教養を身につけている。							
	2.知識理解：幼児教育・保育に関わる理論と技術、子どもの成長・発達についての専門的知識を修得している。							
○	3.協調性：社会の様々な問題に関心を向け、幼児教育・保育の現場で他者と協力して対応する行動力を身につけている。							
	4.知識活用：各々の関心に基づく得意分野を持ち、幼児教育・保育の実践に活かすことができる。							
成績評価方法・基準								
内容		割合(%)	内容		割合(%)			
実習園の評価		50%						
実習日誌		25%						
実習報告書・報告会への参加		25%						
教科書・ソフト等								
書籍名	著者名	出版社	出版年	ISBN	備考			
『なし。授業内で適宜、資料を配付します。』								
参考書等								
『これで安心!保育指導案の書き方―実習生・初任者からベテランまで』 開 仁志著 北大路書房								
授業科目に関連した実務経験のある教員の配置の有無						実務経験あり		
この科目は実務の経験を有する教員が実践的指導を行います。								
予習・復習の具体的な内容とそれに必要な時間								
予習・復習の具体的な内容						予習・復習に必要な時間		
実習に入るまでに『幼稚園教育要領』を熟読しておく。						2時間から3時間程度/週		
受講時の注意事項								
実習園との実習事前打ち合わせ、実習後の実習日誌受取りや園行事などに十分配慮する。 事前指導については、「教育実習」と「幼児教育の方法と技術」の中で関連させ進める。								
アクティブ・ラーニング情報								
この科目は、アクティブ・ラーニングにおける実習の要素を含む授業です。								
備考								

授業計画		
回数	タイトル	内容
第1週	実習前事前学習	8月下旬～9月中旬（3週間）協力幼稚園で実習する前に事前学習をして実習に備える。
第2週	実習園との事前打ち合わせ	事前打ち合わせで教育課程、保育環境、組織体制を理解する。
第3週	観察・参加実習	実習園の人的環境、物的環境、地域環境を知る。 実習内容を実習日誌として記録する。
第4週	観察・参加実習	1日の保育の流れを知り、担当教諭の指導のもと必要な活動を行う。 実習内容を実習日誌として記録する。
第5週	観察・参加実習	保育全般についての見学・観察・参加活動を行い、子どもの実態を把握する。 実習内容を実習日誌として記録する。
第6週	部分実習	担当教諭の指導のもとに指導計画を立案する。 実習内容を実習日誌として記録する。
第7週	部分実習	担当教諭の指導のもとに指導計画を作成する。 実習内容を実習日誌として記録する。
第8週	部分実習	担当教諭の指導のもとに指導計画を完成、実践する。 実習内容を実習日誌として記録する。
第9週	完全実習	担当クラスで実習生としての仕事全般を実習する。 実習内容を実習日誌として記録する。
第10週	完全実習	担当教諭の指導のもとに指導計画を立案する。 実習内容を実習日誌として記録する。
第11週	完全実習	担当教諭の指導のもとに指導計画を作成する。 実習内容を実習日誌として記録する。
第12週	完全実習	担当教諭の指導のもとに指導計画を完成する。 実習内容を実習日誌として記録する。
第13週	完全実習	担当教諭の指導のもとに指導計画を実践する。 実習内容を実習日誌として記録する。
第14週	巡回指導	教員による巡回指導を受ける。 実習内容を実習日誌として記録する。
第15週	事後指導	課題を整理し、実習報告書作成する。実習報告会に参加し、発表する。
第16週		
第17週		
第18週		
第19週		
第20週		
第21週		
第22週		
第23週		
第24週		
第25週		
第26週		
第27週		
第28週		
第29週		
第30週		

学校法人札幌大谷学園 理事名簿

2025 年 6 月 2 日現在

定員数：理事 9 名～11 名、監事 2 名

	資 格	氏 名	備 考	
理 事	第 1 号	加 藤 久 豊	常 勤	法人本部長、 法人本部 主幹（宗教教育）
理 事	第 2 号	千 葉 潤	常 勤	札幌大谷大学・ 札幌大谷大学短期大学部 学長
理 事	第 3 号	種 市 政 己	常 勤	札幌大谷中学校・ 札幌大谷高等学校 学校長
理 事	第 4 号	齊 藤 正	常 勤	札幌大谷大学附属幼稚園 園長
理 事	第 4 号	田 中 孝 征	常 勤	法人本部長、札幌大谷大学・札幌 大谷大学短期大学部 事務局長
理 事	第 4 号	澤 登 眞理子	常 勤	札幌大谷中学校 副校長
理 事	第 4 号	山 森 智	常 勤	法人本部次長、札幌大谷中学校・ 札幌大谷高等学校 事務局長
理 事	第 5 号	檜 垣 尚 子	非常勤	外部理事
理 事	第 5 号	和 田 健 夫	非常勤	外部理事
理 事	第 5 号	山 崎 敏 史	非常勤	外部理事
理 事	第 5 号	西 田 治	非常勤	外部理事
監 事	-	小 川 如 俊	非常勤	
監 事	-	花 輪 啓 一	非常勤	

以 上

学校法人札幌大谷学園 評議員名簿

2025 年 6 月 2 日現在

定員数：評議員 13 名

	資 格	氏 名
1	第 1 号	西 道 力
2	第 1 号	鳥 羽 敦
3	第 1 号	鳥 宮 尚 道
4	第 1 号	松 井 亜 樹
5	第 2 号	伊 藤 智 秀
6	第 3 号	内 海 郁
7	第 3 号	小 原 明 美
8	第 4 号	阿 部 紫 乃
9	第 4 号	秋 本 美耶子
10	第 5 号	荒 木 太 郎
11	第 5 号	鈴 木 忠 壽
12	第 5 号	佐 藤 恵
13	第 5 号	海 藤 裕 司

以 上

添付書類

「(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」

客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料

保育科〇年（学生数 〇名）

順位	学籍番号	氏名	GPA値	備考
1			4	
2			3.9	
3			3.79	
4			3.7	
5			3.67	
6			3.65	
7			3.65	
8			3.64	
9			3.6	
10			3.6	
11			3.59	
12			3.54	
13			3.48	
14			3.46	
15			3.46	
16			3.46	
17			3.46	
18			3.44	
19			3.42	
20			3.42	
21			3.4	
22			3.4	
23			3.4	
24			3.4	
25			3.38	
26			3.38	
27			3.38	
28			3.38	
29			3.36	
30			3.34	
31			3.33	
32			3.33	
33			3.32	
34			3.31	
35			3.31	
36			3.31	
37			3.29	
38			3.27	
39			3.25	
40			3.23	
41			3.23	
42			3.21	
43			3.19	
44			3.15	
45			3.1	
46			3.1	
47			3.08	
48			3.06	
49			3.06	
50			3.04	
51			3.02	
52			3.02	
53			3.02	
54			3	
55			2.97	
56			2.96	以下、下位4分の1
57			2.92	18名
58			2.92	
59			2.92	
60			2.9	
61			2.88	
62			2.85	
63			2.85	
64			2.83	
65			2.83	
66			2.82	
67			2.81	
68			2.79	
69			2.79	
70			2.79	
71			2.76	
72			2.75	
73			2.75	

専攻科保育専攻〇年生（学生数 〇名）

順位	学籍番号	氏名	GPA値	備考
1			3.79	
2			3.76	
3			3.59	
4			3.4	
5			3.37	
6			3.32	
7			3.21	
8			3.15	以下、下位4分の1
9			2.94	2名

添付書類

その他

☒ 確認申請を行う年度において設置している学部等一覧

学校法人札幌大谷学園

〒065-8567 北海道札幌市東区北16条東9丁目1番1号

設置校

札幌大谷大学	芸術学部 音楽学科
	芸術学部 美術学科
	社会学部 地域社会学科
札幌大谷大学短期大学部	保育科
	専攻科保育専攻
札幌大谷高等学校	全日制課程 普通科 音楽科 美術科
札幌大谷中学校	
札幌大谷大学附属幼稚園	

以上

事業活動収支計算書

令和6年4月1日から

令和7年3月31日まで

(単位 円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,651,736,000	1,631,506,802	20,229,198
		授業料・保育料	1,197,374,000	1,186,049,535	11,324,465
		入学金・入園料	110,350,000	106,150,000	4,200,000
		実験実習料	11,050,000	10,760,000	290,000
		教材教具料	15,790,000	15,689,690	100,310
		教育充実費	253,510,000	250,091,585	3,418,415
		維持料	59,106,000	58,486,000	620,000
		給食費	4,556,000	4,279,992	276,008
		手数料	17,895,000	17,428,102	466,898
		入学検定料	17,060,000	16,564,500	495,500
		証明手数料	495,000	525,472	△ 30,472
		大学入学共通テスト実施手数料	340,000	338,130	1,870
		寄付金	4,959,000	3,778,297	1,180,703
		一般寄付金	4,959,000	3,778,297	1,180,703
		経常費等補助金	840,700,000	830,417,033	10,282,967
		国庫補助金	209,850,000	212,317,900	△ 2,467,900
		地方公共団体補助金	630,850,000	618,099,133	12,750,867
		付随事業収入	44,885,000	44,088,052	796,948
		補助活動収入	43,783,000	42,479,152	1,303,848
		受託事業収入	980,000	1,495,460	△ 515,460
		各種検定手数料収入	96,000	89,440	6,560
		公開講座収入	26,000	24,000	2,000
		雑収入	77,988,000	87,192,543	△ 9,204,543
		施設設備利用料	5,439,000	6,090,093	△ 651,093
		私立大学退職金財団交付金	47,955,000	47,954,000	1,000
		私学退職金社団交付金	18,485,000	27,404,900	△ 8,919,900
		その他の雑収入	6,109,000	5,743,550	365,450
		教育活動収入計	2,638,163,000	2,614,410,829	23,752,171
	事業活動支出の部	人件費	1,952,597,560	1,899,001,722	53,595,838
		教員人件費	1,380,228,023	1,354,832,666	25,395,357
		職員人件費	445,466,576	421,599,100	23,867,476
		役員報酬	9,932,961	5,656,754	4,276,207
		退職給与引当金繰入額	5,477,000	5,476,158	842
		役員退職給与引当金繰入額	16,152,000	16,151,562	438
		退職金	95,341,000	95,285,482	55,518
		教育研究経費	860,468,545	739,065,695	121,402,850
		視聴覚資料費	215,000	40,778	174,222
		消耗品費	39,347,738	34,106,919	5,240,819
		光熱水費	82,366,000	72,286,033	10,079,967
		旅費交通費	30,559,917	26,128,690	4,431,227
		通信運搬費	8,921,350	6,657,630	2,263,720
		印刷製本費	5,341,150	4,045,658	1,295,492
		修繕費	27,746,300	24,092,151	3,654,149
		特別修繕費	460,000	353,650	106,350
		新聞官報費	2,029,000	1,902,022	126,978
		研究費	11,300,000	7,255,752	4,044,248
		奨学費	309,829,300	246,290,350	63,538,950
		福利費	1,331,500	592,221	739,279
		諸会費	2,330,400	2,070,020	260,380
		損害保険料	4,114,550	3,965,322	149,228
		渉外・会議費	920,660	548,604	372,056
		保健衛生費	2,438,891	1,507,514	931,377
		報酬・委託・手数料	121,388,324	114,313,508	7,074,816
		賃借料	14,516,041	13,205,916	1,310,125
		学生生徒等活動補助金	21,063,424	7,952,055	13,111,369
		教育実習費	3,349,000	2,620,000	729,000
		補助活動事業費	3,334,000	2,000,246	1,333,754
		雑費	1,275,000	840,094	434,906
		減価償却額	166,291,000	166,290,562	438

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動支出の部	管理経費	245,081,436	230,788,684	14,292,752
		消耗品費	3,129,200	1,553,799	1,575,401
		光熱水費	5,669,050	3,985,232	1,683,818
		旅費交通費	5,615,000	4,693,297	921,703
		通信運搬費	5,920,000	3,784,356	2,135,644
		印刷製本費	11,975,000	11,035,645	939,355
		修繕費	943,900	535,297	408,603
		新聞官報費	45,000	35,420	9,580
		福利費	820,500	534,224	286,276
		諸会費	4,304,200	4,095,980	208,220
		広告費	12,509,400	12,055,240	454,160
		損害保険料	1,459,030	1,418,211	40,819
		公租公課	5,447,000	4,727,164	719,836
		渉外・会議費	1,661,000	1,126,601	534,399
		保健衛生費	2,990,300	1,991,456	998,844
		報酬・委託・手数料	27,529,856	25,328,934	2,200,922
		賃借料	3,941,000	3,545,497	395,503
		補助活動事業費	34,915,000	34,181,132	733,868
		私立大学等経常費補助金返還金	227,000	226,455	545
		雑費	175,000	129,998	45,002
		授業料等減免費交付金返還金	1,050,000	1,050,000	0
		減価償却額	114,755,000	114,754,746	254
徴収不能額等	7,223,000	7,222,900	100		
教育活動支出計		3,065,370,541	2,876,079,001	189,291,540	
教育活動収支差額		△ 427,207,541	△ 261,668,172	△ 165,539,369	
教育活動外収支	収入の活動部	受取利息・配当金	346,000	347,698	△ 1,698
		その他の受取利息・配当金	346,000	347,698	△ 1,698
		その他の教育活動外収入	700,000	1,990,000	△ 1,290,000
		収益事業収入	700,000	1,990,000	△ 1,290,000
	教育活動外収入計	1,046,000	2,337,698	△ 1,291,698	
	支出の活動部	借入金等利息	6,409,000	6,379,611	29,389
		借入金利息	6,409,000	6,379,611	29,389
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	6,409,000	6,379,611	29,389
教育活動外収支差額		△ 5,363,000	△ 4,041,913	△ 1,321,087	
経常収支差額		△ 432,570,541	△ 265,710,085	△ 166,860,456	
特別収支	収入の活動部	資産売却差額	3,838,000	4,114,540	△ 276,540
		土地売却差額	3,838,000	3,837,570	430
		車両売却差額	277,000	276,970	30
		その他の特別収入	40,212,000	40,158,268	53,732
		施設設備寄付金	39,938,000	39,885,000	53,000
		現物寄付	274,000	273,268	732
		特別収入計	44,050,000	44,272,808	△ 222,808
	支出の活動部	資産処分差額	9,827,000	9,825,341	1,659
		教育研究用機器備品処分差額	582,000	581,748	252
		図書処分差額	9,244,000	9,243,592	408
		車両処分差額	1,000	1	999
		その他の特別支出	500,000	500,000	0
		過年度修正額	500,000	500,000	0
		特別支出計	10,327,000	10,325,341	1,659
		特別収支差額	33,723,000	33,947,467	△ 224,467
〔予備費〕		3,840,000		3,840,000	
基本金組入前当年度収支差額		△ 402,687,541	△ 231,762,618	△ 170,924,923	
基本金組入額合計		△ 97,771,000	△ 97,770,013	△ 987	
当年度収支差額		△ 500,458,541	△ 329,532,631	△ 170,925,910	
前年度繰越収支差額		△ 4,931,179,000	△ 4,931,178,954	△ 46	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 5,431,637,541	△ 5,260,711,585	△ 170,925,956	
〔参考〕					
事業活動収入計		2,683,259,000	2,661,021,335	22,237,665	
事業活動支出計		3,085,946,541	2,892,783,953	193,162,588	

事業活動収支計算書

令和5年4月1日から
令和6年3月31日まで

(単位 円)

		(単位:円)				
	科 目	予 算	決 算	差 異		
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,734,418,000	1,724,883,256	9,534,744	
		授業料・保育料	1,262,164,000	1,246,898,388	15,265,612	
		入学金・入園料	109,490,000	112,390,000	△ 2,900,000	
		実験実習料	16,513,000	16,482,500	30,500	
		教材教具料	13,774,000	13,735,100	38,900	
		教育充実費	266,484,000	261,291,328	5,192,672	
		維持料	61,932,000	70,049,000	△ 8,117,000	
		給食費	4,061,000	4,036,940	24,060	
		手数料	17,752,000	17,826,130	△ 74,130	
		入学検定料	17,105,000	17,039,500	65,500	
		証明手数料	453,000	593,510	△ 140,510	
		大学入学共通テスト実施手数料	194,000	193,120	880	
		寄付金	22,305,000	19,377,469	2,927,531	
		特別寄付金	1,082,000	538,469	543,531	
		一般寄付金	21,223,000	18,839,000	2,384,000	
		経常費等補助金	823,870,000	843,253,959	△ 19,383,959	
		国庫補助金	197,942,000	219,917,927	△ 21,975,927	
		地方公共団体補助金	625,928,000	623,336,032	2,591,968	
		付随事業収入	45,949,000	42,653,614	3,295,386	
		補助活動収入	45,180,000	42,065,118	3,114,882	
		受託事業収入	650,000	423,400	226,600	
		各種検定手数料収入	94,000	133,096	△ 39,096	
		公開講座収入	25,000	32,000	△ 7,000	
		雑収入	58,156,000	52,949,893	5,206,107	
		施設設備利用料	9,692,000	6,496,574	3,195,426	
		私立大学退職金財団交付金	22,607,000	22,605,800	1,200	
		私学退職金社団交付金	18,048,000	17,923,050	124,950	
		その他の雑収入	7,809,000	5,924,469	1,884,531	
		教育活動収入計	2,702,450,000	2,700,944,321	1,505,679	
		事業活動支出の部	人件費	1,738,017,465	1,727,064,505	10,952,960
			教員人件費	1,282,648,998	1,273,360,373	9,288,625
	職員人件費		388,775,581	388,774,614	967	
	役員報酬		5,912,886	4,879,265	1,033,621	
	退職給与引当金繰入額		10,890,000	10,889,708	292	
	役員退職給与引当金繰入額		3,326,000	3,325,390	610	
	退職金		46,464,000	45,835,155	628,845	
	教育研究経費		746,435,523	685,271,737	61,163,786	
	視聴覚資料費		230,000	1,200	228,800	
	消耗品費		34,612,751	26,909,617	7,703,134	
	光熱水費		84,746,000	70,059,819	14,686,181	
	旅費交通費		25,558,920	20,510,895	5,048,025	
	通信運搬費		9,190,200	6,705,165	2,485,035	
	印刷製本費		6,631,050	4,986,039	1,645,011	
	修繕費		13,453,800	10,691,560	2,762,240	
	新聞官報費		2,305,000	2,113,279	191,721	
	研究費		12,768,000	7,106,945	5,661,055	
奨学費	250,132,300		244,783,050	5,349,250		
福利費	1,276,200		869,468	406,732		
諸会費	2,506,000		2,011,160	494,840		
損害保険料	4,243,610		3,946,169	297,441		
渉外・会議費	1,130,400		324,007	806,393		
保健衛生費	2,922,520		2,337,620	584,900		
報酬・委託・手数料	97,441,448		92,123,784	5,317,664		
賃借料	12,384,971		11,104,791	1,280,180		
学生生徒等活動補助金	8,936,653		7,478,755	1,457,898		
教育実習費	4,367,000		3,285,495	1,081,505		
補助活動事業費	5,090,000		2,106,181	2,983,819		
雑費	1,618,700		926,801	691,899		
減価償却額	164,890,000		164,889,937	63		

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動支出の部	管理経費	253,517,124	225,901,683	27,615,441
		消耗品費	2,955,000	1,674,898	1,280,102
		光熱水費	4,979,500	3,909,285	1,070,215
		旅費交通費	6,965,300	4,153,687	2,811,613
		通信運搬費	5,246,500	3,165,854	2,080,646
		印刷製本費	15,058,000	10,683,256	4,374,744
		修繕費	575,500	63,102	512,398
		新聞官報費	55,500	44,619	10,881
		福利費	1,214,650	676,001	538,649
		諸会費	6,675,000	4,228,450	2,446,550
		広告費	14,770,900	12,541,460	2,229,440
		損害保険料	1,497,400	1,422,121	75,279
		公租公課	4,866,000	4,281,847	584,153
		渉外・会議費	2,496,000	1,298,361	1,197,639
		保健衛生費	3,344,700	2,036,205	1,308,495
		報酬・委託・手数料	28,241,074	21,520,632	6,720,442
		賃借料	3,289,100	3,103,385	185,715
		補助活動事業費	33,225,000	33,123,333	101,667
		私立大学等経常費補助金返還金	290,000	289,139	861
		雑費	144,000	58,865	85,135
		減価償却額	117,628,000	117,627,183	817
		徴収不能額等	4,722,000	4,721,960	40
		教育活動支出計	2,742,692,112	2,642,959,885	99,732,227
教育活動収支差額		△ 40,242,112	57,984,436	△ 98,226,548	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	9,000	6,461	2,539
		その他の受取利息・配当金	9,000	6,461	2,539
		その他の教育活動外収入	700,000	1,960,000	△ 1,260,000
		収益事業収入	700,000	1,960,000	△ 1,260,000
	支出の部	教育活動外収入計	709,000	1,966,461	△ 1,257,461
		借入金等利息	7,135,000	7,123,074	11,926
		借入金利息	7,135,000	7,123,074	11,926
		その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	7,135,000	7,123,074	11,926	
	教育活動外収支差額		△ 6,426,000	△ 5,156,613	△ 1,269,387
経常収支差額		△ 46,668,112	52,827,823	△ 99,495,935	
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	41,530,000	41,529,174	826
		施設設備寄付金	40,836,000	40,836,000	0
		現物寄付	672,000	671,379	621
		過年度修正額	22,000	21,795	205
		特別収入計	41,530,000	41,529,174	826
	支出の部	資産処分差額	885,000	884,340	660
		図書処分差額	885,000	884,340	660
		その他の特別支出	1,980,000	1,980,000	0
		過年度修正額	1,980,000	1,980,000	0
		特別支出計	2,865,000	2,864,340	660
		特別収支差額	38,665,000	38,664,834	166
[予備費]		11,734,000		11,734,000	
基本金組入前当年度収支差額		△ 19,737,112	91,492,657	△ 111,229,769	
基本金組入額合計		△ 192,785,000	△ 192,784,822	△ 178	
当年度収支差額		△ 212,522,112	△ 101,292,165	△ 111,229,947	
前年度繰越収支差額		△ 4,829,887,000	△ 4,829,886,789	△ 211	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 5,042,409,112	△ 4,931,178,954	△ 111,230,158	
(参考)					
事業活動収入計		2,744,689,000	2,744,439,956	249,044	
事業活動支出計		2,764,426,112	2,652,947,299	111,478,813	

事業活動収支計算書

令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで

(単位 円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		学生生徒等納付金	1,722,947,000	1,701,566,701	21,380,299
		授業料・保育料	1,225,492,000	1,213,548,220	11,943,780
		入学金・入園料	110,930,000	113,360,000	△ 2,430,000
		実験実習料	19,960,000	19,910,000	50,000
		教材教具料	14,605,000	13,626,445	978,555
		教育充実費	260,735,000	255,048,840	5,686,160
		維持料	86,550,000	81,728,000	4,822,000
		給食費	4,675,000	4,345,196	329,804
		手数料	28,128,000	18,699,738	9,428,262
		入学検定料	27,332,000	17,785,408	9,546,592
		試験料	2,000	0	2,000
		証明手数料	477,000	598,300	△ 121,300
		大学入学共通テスト実施手数料	317,000	316,030	970
		寄付金	36,097,000	38,758,957	△ 2,661,957
		特別寄付金	3,117,000	5,779,127	△ 2,662,127
		一般寄付金	32,980,000	32,979,830	170
		経常費等補助金	837,701,000	840,267,585	△ 2,566,585
		国庫補助金	240,058,000	241,622,199	△ 1,564,199
		地方公共団体補助金	597,643,000	598,645,386	△ 1,002,386
		付随事業収入	52,542,000	46,482,408	6,059,592
		補助活動収入	48,847,000	44,955,694	3,891,306
		受託事業収入	2,665,000	1,248,794	1,416,206
		各種検定手数料収入	847,000	171,599	675,401
		公開講座収入	183,000	106,321	76,679
		雑収入	72,176,000	71,531,721	644,279
		施設設備利用料	8,980,000	6,770,792	2,209,208
		私立大学退職金財団交付金	19,550,000	19,790,000	△ 240,000
		私学退職金社団交付金	36,427,000	36,425,600	1,400
		その他の雑収入	7,219,000	8,545,329	△ 1,326,329
	教育活動収入計	2,749,591,000	2,717,307,110	32,283,890	
	事業活動支出の部	人件費	1,956,301,560	1,890,182,549	66,119,011
		教員人件費	1,411,009,400	1,392,903,160	18,106,240
		職員人件費	465,367,872	418,940,813	46,427,059
		役員報酬	7,305,288	5,724,904	1,580,384
		退職給与引当金繰入額	9,124,000	9,123,246	754
		役員退職給与引当金繰入額	542,000	541,560	440
		退職金	62,953,000	62,948,866	4,134
		教育研究経費	785,285,868	717,110,386	68,175,482
		視聴覚資料費	458,000	133,839	324,161
		消耗品費	43,823,435	36,072,095	7,751,340
		光熱水費	87,136,000	82,939,533	4,196,467
		旅費交通費	26,481,430	22,254,763	4,226,667
		通信運搬費	9,645,800	7,438,342	2,207,458
		印刷製本費	6,730,130	4,873,784	1,856,346
		修繕費	45,749,893	43,638,490	2,111,403
		新聞官報費	2,367,000	1,995,478	371,522
		研究費	12,600,000	8,951,239	3,648,761
		奨学費	252,119,900	231,672,300	20,447,600
		福利費	1,541,200	987,735	553,465
諸会費		2,444,500	2,217,310	227,190	
損害保険料		4,030,610	3,618,247	412,363	
渉外・会議費		1,174,065	369,803	804,262	
保健衛生費		2,288,100	2,041,346	246,754	
報酬・委託・手数料		96,622,254	83,315,345	13,306,909	
賃借料		15,938,311	13,751,982	2,186,329	
学生生徒等活動補助金		7,075,240	5,448,189	1,627,051	
教育実習費		5,248,000	4,561,663	686,337	
補助活動事業費		5,555,000	5,086,671	468,329	
雑費		1,400,000	885,514	514,486	
減価償却額		154,857,000	154,856,718	282	

		科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動支出の部	管理経費	280,489,776	249,118,673	31,371,103
		消耗品費	3,714,100	2,696,832	1,017,268
		光熱水費	7,429,700	4,905,830	2,523,870
		旅費交通費	7,353,800	5,406,008	1,947,792
		通信運搬費	5,472,500	3,635,895	1,836,605
		印刷製本費	15,593,000	13,638,889	1,954,111
		修繕費	890,900	383,263	507,637
		新聞官報費	33,500	28,050	5,450
		福利費	957,000	629,941	327,059
		諸会費	5,978,000	4,397,120	1,580,880
		広告費	24,764,400	15,551,416	9,212,984
		損害保険料	1,511,900	1,432,452	79,448
		公租公課	5,553,000	5,444,261	108,739
		渉外・会議費	3,449,000	923,424	2,525,576
		保健衛生費	2,739,700	1,768,728	970,972
		報酬・委託・手数料	34,513,776	31,220,408	3,293,368
		賃借料	5,319,700	4,964,492	355,208
		補助活動事業費	38,119,000	35,231,816	2,887,184
		私立大学等経常費補助金返還金	161,000	161,000	0
		雑費	416,800	179,916	236,884
		減価償却額	116,519,000	116,518,932	68
		徴収不能額等	0	1,176,395	△ 1,176,395
		教育活動支出計	3,022,077,204	2,857,588,003	164,489,201
教育活動収支差額		△ 272,486,204	△ 140,280,893	△ 132,205,311	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	24,000	6,854	17,146
		その他の受取利息・配当金	24,000	6,854	17,146
		その他の教育活動外収入	500,000	1,240,000	△ 740,000
		収益事業収入	500,000	1,240,000	△ 740,000
	支出の部	教育活動外収入計	524,000	1,246,854	△ 722,854
		借入金等利息	7,939,000	7,907,167	31,833
		借入金利息	7,939,000	7,907,167	31,833
		その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	7,939,000	7,907,167	31,833		
教育活動外収支差額		△ 7,415,000	△ 6,660,313	△ 754,687	
経常収支差額		△ 279,901,204	△ 146,941,206	△ 132,959,998	
特別収支	収入の部	資産売却差額	113,000,000	110,733,240	2,266,760
		土地売却差額	113,000,000	110,733,240	2,266,760
		その他の特別収入	62,004,000	62,003,684	316
		施設設備寄付金	44,727,000	44,727,000	0
		現物寄付	634,000	633,684	316
		施設設備補助金	16,643,000	16,643,000	0
	支出の部	特別収入計	175,004,000	172,736,924	2,267,076
		資産処分差額	12,083,000	12,080,096	2,904
		構築物処分差額	1,000	12	988
		教育研究用機器備品処分差額	695,000	694,404	596
		図書処分差額	11,386,000	11,385,678	322
		車両処分差額	1,000	2	998
	活動の部	その他の特別支出	690,000	689,780	220
		過年度修正額	690,000	689,780	220
		特別支出計	12,773,000	12,769,876	3,124
		特別収支差額	162,231,000	159,967,048	2,263,952
〔予備費〕		15,700,000		15,700,000	
基本金組入前当年度収支差額		△ 133,370,204	13,025,842	△ 146,396,046	
基本金組入額合計		△ 140,622,000	△ 140,621,488	△ 512	
当年度収支差額		△ 273,992,204	△ 127,595,646	△ 146,396,558	
前年度繰越収支差額		△ 4,702,292,000	△ 4,702,291,143	△ 857	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 4,976,284,204	△ 4,829,886,789	△ 146,397,415	
(参考)					
事業活動収入計		2,925,119,000	2,891,290,888	33,828,112	
事業活動支出計		3,058,489,204	2,878,265,046	180,224,158	

貸 借 対 照 表

令和 7 年 3 月 31 日

(単位 円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産	6,555,917,843	6,797,391,890	△ 241,474,047
有 形 固 定 資 産	6,316,623,264	6,572,168,501	△ 255,545,237
土 地	1,560,449,541	1,564,611,971	△ 4,162,430
建 物	4,100,839,924	4,289,545,637	△ 188,705,713
構 築 物	143,321,771	174,267,583	△ 30,945,812
教 育 研 究 用 機 器 備 品	77,891,909	86,876,303	△ 8,984,394
管 理 用 機 器 備 品	5,232,275	6,904,405	△ 1,672,130
図 書	414,328,190	421,888,324	△ 7,560,134
車 両	14,559,654	28,074,278	△ 13,514,624
特 定 資 産	209,721,547	189,641,295	20,080,252
退 職 給 与 引 当 特 定 資 産	3,437,910	3,435,960	1,950
土 地 引 当 特 定 資 産	18,432,795	18,422,336	10,459
建 築 特 定 資 産	0	1	△ 1
減 価 償 却 引 当 特 定 資 産	154,753,149	134,704,085	20,049,064
奨 学 金 引 当 特 定 資 産	33,097,693	33,078,913	18,780
そ の 他 の 固 定 資 産	29,573,032	35,582,094	△ 6,009,062
電 話 加 入 権	1,310,610	1,310,610	0
教 育 研 究 用 ソ フ ト ウ ェ ア	22,654,122	29,205,484	△ 6,551,362
管 理 用 ソ フ ト ウ ェ ア	608,300	66,000	542,300
長 期 貸 付 金	5,000,000	5,000,000	0
流 動 資 産	538,886,889	689,007,930	△ 150,121,041
現 金 預 金	464,934,652	636,517,880	△ 171,583,228
未 収 入 金	69,412,366	48,632,901	20,779,465
前 払 金	4,539,871	3,857,149	682,722
資 産 の 部 合 計	7,094,804,732	7,486,399,820	△ 391,595,088

負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 負 債	1,262,264,394	1,375,790,934	△ 113,526,540
長 期 借 入 金	907,450,000	1,015,754,000	△ 108,304,000
退 職 給 与 引 当 金	283,781,092	278,304,934	5,476,158
役 員 退 職 給 与 引 当 金	25,989,252	9,837,690	16,151,562
長 期 未 払 金	45,044,050	71,894,310	△ 26,850,260
流 動 負 債	727,951,012	774,256,942	△ 46,305,930
短 期 借 入 金	108,304,000	108,304,000	0
未 払 金	143,824,584	151,478,533	△ 7,653,949
前 受 金	325,849,700	341,437,800	△ 15,588,100
預 り 金	149,972,728	173,036,609	△ 23,063,881
負 債 の 部 合 計	1,990,215,406	2,150,047,876	△ 159,832,470
純 資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基 本 金	10,365,300,911	10,267,530,898	97,770,013
第 1 号 基 本 金	10,159,300,911	10,061,530,898	97,770,013
第 4 号 基 本 金	206,000,000	206,000,000	0
繰 越 収 支 差 額	△ 5,260,711,585	△ 4,931,178,954	△ 329,532,631
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 5,260,711,585	△ 4,931,178,954	△ 329,532,631
純 資 産 の 部 合 計	5,104,589,326	5,336,351,944	△ 231,762,618
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	7,094,804,732	7,486,399,820	△ 391,595,088

注記事項

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

徴収不能引当金

未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能額を計上している。

退職給与引当金

退職金の支給に備えるため、私立大学退職金財団に加入している法人・高等学校・中学校の職員及び大学・短期大学部の教職員について、期末要支給額 290,707,596円を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入れ調整額を加減した金額の100%を計上している。また、北海道私学厚生協会に加入している高等学校及び中学校の教職員等について、期末要支給額 328,875,900円の内、協会からの交付金以外に支給される慰労金等の支給額を計上している。さらに幼稚園の教職員については、期末要支給額 14,738,745円を基に北海道私立幼稚園連合会からの交付金と本園の支給額との差額を計上している。

役員退職給与引当金

役員の報酬等に関する規則に基づく退任慰労金の期末要支給額 25,989,252円を基に、100%を計上している。

(2) その他の重要な会計方針

預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

預り金に係る収入と支出は総額をもって表示している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 減価償却額の累計額の合計額 4,895,440,665 円
4. 徴収不能引当金の合計額 10,994,860 円
5. 担保に供されている資産の種類及び

担保に供されている資産の種類及び額は、次のとおりである。

土 地	751,973,039 円
建 物	3,536,261,064 円
定期預金	10,000,000 円

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 1,077,336,050 円
7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策
第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。
8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 偶発債務

下記について債務保証を行っている。

教職員の日本私立学校振興・共済事業団借入金	13,126,024 円
-----------------------	--------------

(2) 所有権移転外ファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは次のとおりである。

平成21年4月1日以降に開始したリース取引

リース物件の種類	リース料総額	未経過リース料期末残高
教育研究用機器備品	7,268,640 円	3,388,073 円
管理用機器備品	1,076,400 円	76,630 円
計	8,345,040 円	3,464,703 円